

各位

2023年1月27日
株式会社リットーミュージック

アコースティック・ギター・マガジン Vol.95 は憧れの D-45 大特集
アコギ弾きのためのルーパー・コンテスト 2023 を開催！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、アコースティック・ギターの専門誌『アコースティック・ギター・マガジン Vol.95』を、2023年1月27日に発売しました。

メイン特集は、名実ともにアコースティック・フラットトップの最高峰に君臨するマーティン D-45。このギターは、シンギング・カウボーイと呼ばれたジーン・オートリー専用の特注モデルとして 1933 年に誕生し、1942 年までの間にわずか 91 本のみが製作されました。今やそのオリジナルの価値は 1 本数千万円と言われています。

そんな D-45 は空白の時を経て 1968 年から再生産が始まり、まずはスティーヴン・スティルスやデヴィッド・クロスビー、ニール・ヤングなどの CSN & Y 勢が使用。日本では彼らに憧れたフォーク系ミュージシャン……例えば、元ザ・フォーク・クルセダーズの加藤和彦や、当時一世を風靡したガロ、吉田拓郎やかぐや姫などの作品でギターを弾いていた巨匠・石川鷹彦、さらには南こうせつや伊勢正三、さだまさしなどが、その煌びやかな 45 サウンドを愛しました。1990 年代以降も玉置浩二、福山雅治、桜井和寿 (Mr.Children)、草野マサムネ (SPITZ)、吉井和哉といった日本屈指のシンガーソングライターたちが D-45 を愛用するなど、その系譜は脈々と受け継がれています。

今回は、そんな D-45 の魔性的な魅力を紐解くべく、さまざまなミュージシャンの D-45 を訪ね、撮影取材を敢行。また、ギターショップ Blue-G の協力のもと、68 年～73 年製までの貴重な D-45 を計 7 本も集め、やはり D-45 ユーザーである藤巻亮太にじっくりと試奏してもらいました。ここまで多くの D-45 が一堂に会する機会は最初で最後かもしれません。

付録の歌本『AGM SONG BOOK Vol.9』には、D-45 アーティストによる楽曲を 13 曲収録。ニール・ヤングからガロ、玉置浩二、スピッツ、Mr.Children などの名曲のコード譜をダイアグラム付きで掲載しています。

第 2 特集では、With コロナのギター界において、よりいっそう注目を集めているルーパーという魔法の小箱に注目しました。自分の演奏をリアルタイムに重ねることで、簡単にひとりふた役以上の演奏ができ、いわゆるソロ・ギターとは異なる新しい世界を創り出すことができます。エド・シーランを始め世界中の鬼才たちがその虜となり、もはやひとつの音楽スタイルが確立されつつあるのです。そんなループ・ペダルの使い方を基礎の基礎から徹底レクチャー。加えて Anly、井草聖二、まるやまたつやの実例インタビュー、竹内アンナが BOSS のルーパー 3 モデルを用いながら操作法を実践、さらに ReN の試奏コメントとともに最新 9 機種を紹介します。

また、未来のルーパー使いを発掘すべく、アコースティック・ギター・マガジン主催のルーパー・コンテスト 2023 を開催！ 優勝商品は BOSS RC-600。応募方法などの詳細は、アコギマガジン WEB (<https://acousticguitarmagazine.jp/>) をチェックしてほしい。我こそはという方はぜひコンテストにエントリーしてみよう。

永久
保存版

憧れの

SPECIAL PROGRAM 1

The King Of Martin

45

を訪ねて。

名実ともにアコースティック・フラットトップの最高峰に君臨するマーティンD-45は、ジーン・オースターやブライアン・ピップスをはじめ、1942年まで活躍した多くの偉大なミュージシャンが愛用した。1968年から現在まで、まずはニール・ヤングやデヴィッド・タボリスなどのCSNYが使用。日本では若くは憧れたフランク・ザッパやジミ・ヘンドリクス、元々、フォーク・クルセダーズの高橋和郎や、当時一世を風靡したガロ、吉田拓郎やゆきおやまなどの作品でギターを弾いていた田原・石川康彦などが、その遊びやかな45サウンドに惚れた。1990年代以降も玉置浩二、福山雅治、櫻井和寿(Mr.Children)、菅野マユナ(SPITZ)といった日本屈指のシンガーソングライターたちがD-45を愛用するなど、その伝説的ステータスは衰えていない。その一方で、そんなD-45の魔力的な魅力を細かく、さまざまなミュージシャンのD-45を訪ね、撮影取材を行った。また、ギターショップBlue-Gの協力のもと、68年〜73年製の真鍮製D-45を計7本も集め、やはりD-45ユーザーである藤巻光夫にじっくりと試弾してもらった。ここで多くのD-45が一堂に集まる機会が訪れるかもしれない。ぜひ憧れのD-45たちを皆さんの目に焼き付けていただきたい。

マーティンD-45は、1942年から現在まで、多くの偉大なミュージシャンが愛用した。1968年から現在まで、まずはニール・ヤングやデヴィッド・タボリスなどのCSNYが使用。日本では若くは憧れたフランク・ザッパやジミ・ヘンドリクス、元々、フォーク・クルセダーズの高橋和郎や、当時一世を風靡したガロ、吉田拓郎やゆきおやまなどの作品でギターを弾いていた田原・石川康彦などが、その遊びやかな45サウンドに惚れた。1990年代以降も玉置浩二、福山雅治、櫻井和寿(Mr.Children)、菅野マユナ(SPTZ)といった日本屈指のシンガーソングライターたちがD-45を愛用するなど、その伝説的ステータスは衰えていない。その一方で、そんなD-45の魔力的な魅力を細かく、さまざまなミュージシャンのD-45を訪ね、撮影取材を行った。また、ギターショップBlue-Gの協力のもと、68年〜73年製の真鍮製D-45を計7本も集め、やはりD-45ユーザーである藤巻光夫にじっくりと試弾してもらった。ここで多くのD-45が一堂に集まる機会が訪れるかもしれない。ぜひ憧れのD-45たちを皆さんの目に焼き付けていただきたい。

50年以上も愛用する デヴィッド・クロスビーの 1968-1969年製D-45

David Crosby

デヴィッド・クロスビーは、1968年から1969年製のマーティンD-45を愛用している。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。

その他の海外の45アーティスト
レッチリーのダン・クラフツマンと、現役の日系アーティストのひとりとして

デヴィッド・クロスビーは、1968年から1969年製のマーティンD-45を愛用している。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。

50年以上も愛用する デヴィッド・クロスビーの 1968-1969年製D-45

David Crosby

デヴィッド・クロスビーは、1968年から1969年製のマーティンD-45を愛用している。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。

その他の海外の45アーティスト
レッチリーのダン・クラフツマンと、現役の日系アーティストのひとりとして

加藤和彦の 1969年製 D-45

Kazuhiko Kato

日本のミュージシャンが
一番最初に手に入れた音楽史に残る1本

加藤和彦は、1969年製のマーティンD-45を愛用している。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。このギターは、彼の音楽キャリアの重要な部分であり、彼の音楽に大きな影響を与えている。

その他の海外の45アーティスト
レッチリーのダン・クラフツマンと、現役の日系アーティストのひとりとして

Looper in the world

海外のルーパーアーティスト

本誌に登場するAndy Middleはエドワード・シラーと交流し、ルーパーを使い始めたという。ここではその名曲、海外のルーパーアーティストをピックアップ。



2017年、Andy Middleはエドワード・シラーと交流し、ルーパーを使い始めたという。ここではその名曲、海外のルーパーアーティストをピックアップ。

Andy Middleはエドワード・シラーと交流し、ルーパーを使い始めたという。ここではその名曲、海外のルーパーアーティストをピックアップ。

Andy Middleはエドワード・シラーと交流し、ルーパーを使い始めたという。ここではその名曲、海外のルーパーアーティストをピックアップ。

What is Looper? 基礎知識

Looperとは、音楽制作に活用できる、録音・編集機能を持つ録音機。音楽制作に活用できる録音機。音楽制作に活用できる録音機。

そもそもルーパーって何?

ルーパーとは、音楽制作に活用できる、録音・編集機能を持つ録音機。音楽制作に活用できる録音機。音楽制作に活用できる録音機。

操作の種類とスペックの詳細

まず理解すべきこと

スイッチに関して



HOW TO LOOPER 竹内アンナと一緒にループしよう

ルーパーを使ってみたい、もう少し詳しく知りたい...そんな音楽家のために、シンガーソングライター竹内アンナに登場してもらおう。3つの用途に分け、代表的なモデルを例にルーパーの使い方を紹介しよう。

1 シンプルにまずはルーパーを使い始めたい

音を重ねてみる

外部フットスイッチを使ってみる





◆表紙/Special Program 1

THE KING OF MARTIN 憧れの D-45 を訪ねて

●海外ミュージシャンの D-45 事情

- ・ジミ・ヘンドリックスの 1968～69 年製 D-45
- ・デヴィッド・クロスビーの 1968～69 年製 D-45
- ・ライ・クーダーの 1969 年製 D-45
- ・エリック・クラプトンの 1968 年製 D-45

●フォーク全盛の 1970 年代、あの頃みんな D-45 に憧れた

- ・加藤和彦の 1969 年製 D-45
- ・堀内護（元ガロ）の 1969 年製 D-45
- ・石川鷹彦の 1971 年製 D-45
- ・さだまさしの 1993 年製 D-45 DELUXE
- ・坂庭省悟 & 高田渡の 1972 年製 D-45

●1990 年代以降も受け継がれる D-45 の系譜

- ・玉置浩二の 1992 年製 D-45S DELUXE
- ・吉井和哉の CUSTOM D-Style 45 BLACK
- ・藤巻亮太の 1970 年製 D-45

●僕たちが D-45 を愛する理由

- ・坂崎幸之助（THE ALFEE）の 1968 年製 D-45
- ・大野真澄（元ガロ）の CUSTOM D-Style 45
- ・南こうせつの 1971 年製 D-45
- ・伊勢正三の 1972 年製 D-45
- ・渡辺香津美の 1940 年製 D-45
- ・森山直太朗の CUSTOM D-Style 45 K2

●小倉博和インタビュー

●ビンテージ D-45 博物館（1938 年製、1940 年製、1968 年製プロイトタイプ、他）

●MARTIN D-45～そのサウンドと歴史

●D-45 シリアル&トータル・プロダクション一覧表

●藤巻亮太が Blue-G にやってきた！～珠玉のビンテージ D-45 を徹底的に弾き倒す～

◆THE INSTRUMENTS

未来の表現スタイルをその手に

アコギ弾きのためのルーパー活用術 & 製品ガイド

●Interview : Anly、井草聖二、まるやまたつや

- Looper in the World：海外のルーパー・アーティスト
- What is Looper？：基礎知識
- How to Loop：竹内アンナと一緒にループしよう
- Buyer's Guide：ReN が試す最新ルーパー9 モデル

◆INTERVIEW & LIVE REPORT

- ・ジェイコブ・コリアー
- ・Tani Yuuki
- ・ミュージック・トラベル・ラブ

◆SEMINAR 見直してみよう！アコースティック・ギター基本の“キ”

- ・Dr.キャピタル アコギで学ぶ音楽理論講座（第8回）
- ・沖仁 フラメンコ・ギターじゃなきゃダメなんですか？（第9回）（電子版には一部譜面が付属しません）
- ・井草聖二 フィンガーピッキング・アカデミー（第9回）
- ・齊藤ジョニー 現代ブルーグラスのフラットピッキング革命（第2回）

◆BEST SONGS FOR ACOUSTIC GUITAR（電子版には譜面が付属しません）

- ・「風の詩を聴かせて」（桑田佳祐）
- ・「なごり雪」（かぐや姫）

◆ GEAR

- ・LAST GUITAR 10周年特別対談～小山晃弘(LAST GUITAR 代表)×荻野裕嗣(OGINO GUITARS)
- ・Lâg Guitars×井草聖二

◆連載

- ・高田漣の Folk Days Memories #8 フォーク・ソングの残像
- ・AGM GUITAR GRAPH 第91回：伊藤ゴローの Echizen Guitars
- ・にっぽんのギター工房 第80回：エム・シオザキ弦楽器工房／塩崎雅亮
- ・バックナンバー
- ・インフォメーション
- ・麻田浩の“ロックじゃなくてブルーグラスを聴こう”第2回：もう一度ブルーグラスを盛り上げたい！
- ・フィンガーピッキングデイ 2023 開催決定！
- ・DIY キットでアコースティック・ギターを作ろう 第8回：エンドグラフトの接着とバインディングの準備
- ・ニュー・ギア・サウンド・チェック

◆付録歌本 AGM SONG BOOK Vol.9（全13曲）

マーティン D-45 で弾き語りしたい珠玉の名曲集（電子版には譜面が付属しません）

「田園」玉置浩二
「あの素晴らしい愛をもう一度」加藤和彦と北山修
「ロマンス」ガロ
「22才の別れ」かぐや姫
「道化師のソネット」さだまさし
「終わりなき旅」Mr.Children
「3月9日」藤巻亮太
「家族になろうよ」福山雅治
「優しいあの子」スピッツ
「MARRAKESH EXPRESS」クロスビー・スティルス&ナッシュ
「OUR HOUSE」クロスビー・スティルス・ナッシュ&ヤング
「OUT ON THE WEEKEND」ニール・ヤング
「HEART OF GOLD」ニール・ヤング

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp